

クイズ形式で学ぶ比較的知られていない3つの口語英語(前編)

—調理にまつわる clean と toast と nuke—

大西 博人

はじめに

調理に関連する動詞としては、包括的に加熱調理をする cook がよく用いられます。さらに加熱方法の違いにより、boil (ゆでる), steam (蒸す), fry (いためる・揚げる), bake (オーブンで焼く), roast (直火やオーブンであぶる・焼く), grill (強火で網焼きする), stew (煮込む) など、多くの動詞が思い浮かびます。

本稿では、比較的知られていないと思われる3つの調理にまつわる表現, clean, toast, nuke をクイズ形式で取り上げ、実際に用いられている例もご紹介したいと思います。

問1. 「私は魚の内臓を取り除いた」に用いる動詞はどれでしょうか？

I () a fish.

1. cleaned 2. removed 3. omitted

正解は1の cleaned です。

《説明》

動詞 clean は主に「きれいにする、掃除をする」という意味で用いられますが、衣類のクリーニングや歯科医院での歯石除去を cleaning と表すように、「不純物や不要なものを取り除く」という意味合いが伴います。目的語が「魚」や狩猟での「鳥獣」の場合には、「(食べることができない)内臓を取り除く」という、いわゆる「さばく」という意味で用いられます。

オンライン版ロングマン現代英英辞典 (Idoceanline.com) では、to remove the inside parts of an animal or bird before cooking it (調理する前に、動物や鳥の内臓を取り除くこと) と説明しています。

《参考用例》

【1】兄弟で淡水魚のバスを捕まえ、川でさばき、調理した子ども時代を回想する小説の場面

My mom hates the smell of fish, so we'd catch them and **clean** and cook them out here before bringing them back to the farmhouse.

— Nicholas Sparks, *The Longest Ride*,
Hachette UK, 2013, p.123

お母さんは魚の臭いが嫌いなので、ぼくたちが捕まえた魚をその場でさばき、調理してから、それらを農家に持ち帰ったものでした。

【2】実業家で著名なライフコーディネーター Martha Stewart 女史のウェブサイト

There are three, to be exact: scaling, **cleaning**, and filleting. Scaling refers to the process of removing the scales and slimy coat from the fish, **cleaning** removes its innards, and filleting cuts the meat of the fish from its bones.

— marthastewart.com, March 6, 2023

(魚の下ごしらえには) 正確に言うと scaling, **cleaning**, filleting といった3つ(の手順)があります。scaling は魚から表面のぬめりと鱗を取り除く過程を指し、**cleaning** で内臓を除去し、filleting で骨を外し3枚におろします。

【3】子ども時代に狩猟でしとめた獲物の処理の仕方を知らなかったことを回想する記事

I have always loved the challenge of heading out into the woods and attempting to come home with dinner. When I first started hunting as a child, one of my biggest hesitations was the fact that I didn't know how to **clean** the game I was hunting.

— askaprepper.com, March 2, 2021

私は森に出向いていき、夕食(用の獲物)をもって帰宅する挑戦が、いつも大好きでした。子どものころに狩猟を始めたばかりのとき、大きなためらいがあった理由の1つが、自分が狩りをしている獲物のさばき方を知らないという事実でした。

このエッセイでは後段で皮、鱗を取り除くことにも言及しているの、そういった作業も含めて clean と表現しているようです(なお、このサイトには実際に動物をさばいている写真も掲載されているので、閲覧の際にご注意ください)。

また clean に類似した意味で dress (下ごしらえする) が用いられる場合があります。原義である「整える、きちんとする」から、「下ごしらえする」の意味に派生したようです。

[1] 魚の鮮度を保つ作業が不適切な状況の例

For example, employees may be tempted to **dress** fish on unsanitary surfaces or to leave a few boxes on the loading dock until after their lunch break.

— George J. Flick, *The Seafood Industry*, Springer US, 2012, p. 219

たとえば、従業員が不衛生な調理場で魚の下ごしらえをしたり、昼休憩が終わるまで搬入口に(魚の入った)数箱を放置したりしたくなるかもしれません。

[2] 戦後の食糧需要の高まりに対する漁業の対応に関する記述

Soon people responded to the need for food with the new vessels that were designed to fish farther from port, navigate with new equipment, find fish with sonar, catch fish with synthetic nets, **dress** fish with new machines, and freeze fish on board.

— William F. Royce, *Introduction to the Fishery Science*, Academic Press, 2013, p. 3

すぐに人々は、港から遠く離れた場所で漁をし、新しい装置で航行し、探知機で魚を見つけ、合繊網で魚を捕り、新しい機械で魚の下ごしらえをして、船上で魚を冷凍できるように設計された新しい船で、食料需要に応えました。

問2. 「やらかした」という意味で用いられる名詞はどれでしょうか？

I'm ().

1. grill 2. stew 3. toast

正解は3の toast です。

《説明》

toast は、動詞では「こんがり茶色に焼く」、名詞では「トースト」[不可算名詞] という意味で用いられていますが、俗語的な口語では、調理とは離れた文脈で用いられることがあります。オンライン版ロングマン現代英英辞典によると、to be in trouble because of something you have done (自分がしてしまったことが理由で、困難な状況にあること)とあり、主にアメリカ英語のようです。

この用法の toast は常に *be toast* の形で用いられ、日本語の「終わっている、ヤバイ」といった意味にあたると考えていいでしょう。

《参考用例》

[1] 孤島で生体実験をしたゴリラの群れが凶暴化したことを学者が述懐する小説の場面

The chips in their heads don't allow for ineffective emotions like fear. So the apes just kept coming, climbing over the piles of their dead, until the Marines were **toast**.

— Matthew Reilly, *Hell Island*, Books Aline, 2005, p. 43

脳に埋め込まれたチップは、恐怖のような無益な感情は意に介さないんだ。それで、ゴリラたちは仲間の死体を乗り越え、ひたすらに向かって来たんだよ。そうして(鎮圧のための)海兵隊員はやられてしまったんだ。

[2] アメリカの住宅ローン事情に関する記事

Private subprime lenders, by contrast, often have no mandatory remedial responsibilities: Miss a few payments and you are **toast**.

— washingtonpost.com, August 5, 2006

(連邦住宅局の債務保証がついているローンには損失軽減策が伴います。)それに反して、民間のサブプライム住宅ローン会社には、多くの場合(連邦

住宅局による)義務的な救済責任がありません。そのため、2, 3回ローン返済がなされないと、債務者はおしまいなのです。

【3】NASAの科学者が米議会に温暖化と温室効果ガスに対する対策を訴えたことに関する記事

“We’re **toast** if we don’t get on a very different path,” Hansen, director of the Goddard Institute of Space Sciences who is sometimes called the godfather of global warming science, told The Associated Press. “This is the last chance.”

— The Argus Press, June 24, 2008

「もし全く別の道を歩まなければ、私たちは終わりです。」ゴダード宇宙科学研究所の所長で、ときに地球温暖化科学の父と呼ばれる Hansen は AP 通信にこのように語りました。「これが最後のチャンスです。」

【4】2023年6月、機密文書問題でトランプ前大統領に37の罪で起訴状が出されたことに対する、元米司法長官のインタビューでの発言

“If even half of it is true, then he’s **toast**,” former Attorney General Bill Barr said on “Fox News Sunday.”

— thehill.com, June 13, 2023

元米司法長官 Bill Barr は、「もし起訴状の半分でも真実だとしたら、トランプは終わりだ」と Fox News Sunday のインタビューに語ったのです。

問3. 「スープを電子レンジで温めてください」に用いる動詞はどれでしょうか？

() some soup.

1. Boil 2. Nuke 3. Shoot

正解は2の nuke です。

《説明》

英単語 nuke は、「原子力の、核の」を意味する形容詞の nuclear に由来する、縮約・変異形の単語です。名詞として「核兵器」や「原子力発電所」、動詞として「核攻撃を加える」という意味ですが、「～を電子レンジでチンする」と言う意味でも用い

られています。オンライン版ロングマン現代英英辞典によると俗語で to cook food in a microwave oven (電子レンジで、食べ物を加熱調理すること)とあります。

この意味では、通常 microwave や heat が動詞として用いられますが、「食べ物を急速に加熱する」という意味合いから、主に米俗語として nuke が用いられるようです(一説には、電子レンジが普及し始めた初期に、核分裂による放射線で食べ物が温められるという誤解から、この語が使われるようになったと言われます)。

《参考用例》

【1】軽食レストラン Tony Luke’s の店主による冷凍包装したチーズステーキサンドの温め方の説明

The best results, he said, come from boiling the pouch of meat, and toasting the roll in the oven. But the quickest and easiest results come from **nuke**ing the meat, and then the roll.

— inquirer.com, March 12, 2009

彼は言いました。肉の包みをボイルし、パンはオーブンで焼くのが最もおいしい食べ方ですが、一番手っ取り早く簡単に済ませるなら、肉を電子レンジで温め、次にパンを(電子レンジで)温めればいいでしょう。

【2】サンクスギビングの残り物を再利用する調理法の紹介記事

Don’t know what to do with that cranberry sauce? Here’s an idea: Cook up pork chops the simplest way possible, by searing thick chops 5 minutes per side in a heavy saucepan, then throwing it in the oven at 350 degrees to roast for 25 minutes or so. **Nuke** the cranberry sauce, then top the savory chops with the sweet tart sauce.

— cbsnews.com, November 25, 2011

例のクランベリーソースの使い方をご存じないですか。1ついい案があります。まず豚肉の切り身を可能な限り簡単な方法で調理しましょう。厚手のソースパンで、分厚い豚の切り身を表裏それぞれ5分強火であぶり、それから(華氏)350度のオーブンに入れて25分程度ローストします。次にクランベ

リソースをレンジでチンし、それからその食欲をそそる豚の切り身の上に、その甘酸っぱいソースをのせてください。

[3] 作家 Ronnie McBrayer による子ども時代の思い出に関する述懐

I remember how we couldn't "nuke" the leftovers; when Jiffy Pop in an expanding foil bag was advanced technology; and watching a black and white television with a screen the size of an iPad (and only four channels) was the best we could do.

— detroitnews.com, December 30, 2016

(子どものころを振り返ると) 残り物を電子レンジで温めるなんてできなかったことを思い出します。また(蓋が加熱で膨らむフォイルで包まれている) Jiffy Pop が先端技術であったときのことや、(4局しか選べない) iPad 並みの小さなスクリーンの白黒テレビを喜んで見ていたときのことを思い出します。

※ Jiffy Pop は、加熱可能なフォイルで覆われた使い捨てのアルミニウム鍋にコーン種、オイル、および香料が準備されたパッケージでポップコーンを販売し続けているブランドです。Jiffy は "in a jiffy" (たちまち) から由来しています。

「電子レンジで加熱する」という意味で、nuke に似た使い方をする動詞に zap があります。「～を強打する、感電する[させる]」の意味で使われる zap ですが、オンライン版ロングマン現代英英辞典は、その意味の1つに、「～を電子レンジで調理する」を挙げています。ウェブスター電子版 (merriam-webster.com) も1つの意味に、to irradiate especially with microwaves (特にマイクロ波を照射すること) を記しており、Can you zap this bowl of soup for me? (このスープを電子レンジでチンしてくれませんか) のように nuke 同様インフォーマルな表現として用いられるようです。

まとめ

本稿では、調理過程に関連する3つの英語表現、clean, toast, そして nuke をクイズ形式で取り上げました。動詞 clean は、食べられない部分を除去

するという意味の場合は、用例 **[2]** に見るように「内蔵の除去」が中心となるようです。

be toast は、主にアメリカの俗語的な口語で、人物や組織が「将来に望みがない状態に終わっている」という意味で用いられています。アメリカの朝食で一般的なアイテムであるトーストに、簡単に焦げてしまう性質があることから、「だめになる」といった意味を連想させるのでしょう。

「電子レンジで温める」は、通常 microwave や heat といった動詞を用いますが、アメリカ人は口語レベルでは nuclear の韻を踏む動詞 nuke を使うことも多いようです。一見食事の場面にそぐわない語ですが、電子レンジの発明・普及の経緯ともなう、アメリカらしい表現と言えるかもしれません。

参考文献

キャサリン・A・クラフト (2021). 『朝から晩まで つぶやく英語表現 200』(里中哲彦編訳) 筑摩書房
里中哲彦 (2013). 『英文法の楽園』中央公論新社

(兵庫県立神戸高塚高等学校 非常勤講師)